

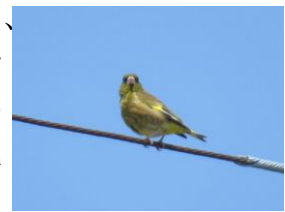
校長室だより

R5.3.6

もう今年度も最後の月になりました。仕上げの月3月です。

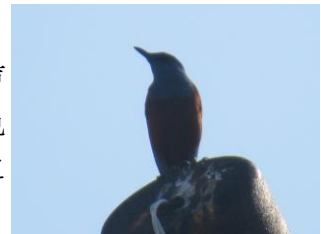
今年度、4月に小野小学校に着任して数日、関係機関への挨拶回りをして帰ってきたときに、与力の丘から、ウグイスの鳴く声がしました。教頭先生もおられたので、間違いのないと思います。顔を上げて、探しますが、姿は見えませんでした。来て数日、新しい学校に慣れておらず、心細かった気持ちに、「顔を上げて、がんばれよ。」と声を掛けられた気がしました。この後、一度も聞くことはなかったので、この1回限りでした。今考えると、場所が与力の丘の木からだったことからすると、与力の松からの贈り物だったのではないかと思います。

これ以外にも、いろいろな鳥と出会いました。鳥には詳しくないので、姿を見て、何の鳥とか、声を聞いて、何の鳥とかは分からないのですが、スズメではない姿だなとか、スズメの鳴き声ではないなの程度なら、分かります。毎日、校長室の外から聞こえてくるのは、そのスズメの鳴き声とそうではない鳴き声です。どうやらそうではない方の鳴き声は、小さい黄色い鳥の声です。全身黄色という訳ではなく、羽の辺りが黄色く見えます。カワラヒワではないかと思われます。(間違えていたらごめんなさい。) 朝は、西門南のカイズカイブキの木にいます。



少し大きめのしっぽが長い灰色の鳥がいます。これは、ヒヨドリですね。理科の先生から、「種を植えたり、苗を植えたりしたら、スズメとヒヨドリ対策をしてください」と言われたことがあります。

校舎の上の方や見晴らしのいいところを陣取って、大きな声で鳴いているのを見かけます。よく見たら、青っぽい頭に褐色に近い茶色のボディ、ツートンカラーがおしゃれです。声高に自慢しているのでしょうか。イソヒヨドリだと思います。



<その他の鳥たち>



西玄関に牛渕の大塚秀雄様から寄贈された40種の野鳥のバード・ケービングがあります。昭和60年春にいただいたものです。今でも、子どもたちに野鳥の多様さを教えてくれています。

このように、豊かな自然と地域の方々に支えられて、小野っ子は、まっすぐに成長しています。私は、もう一度、ウグイスの声が聞けないか心待ちにしています。

